

明日に続く、確かな一歩を

神奈川県議会議員 おのでら慎一郎

コロナ禍の中のお正月

教育の無償化に 中小企業支援も

順調に進んでいます。
中小企業が成長分野へと進出し、労働者もそう

019年4月末から始まりましたが、多くの時間をコロナ対策に費やすこととなりました。それでも4年前の選挙でお約束した政策については一定の前進を見ており、今回はその報告です。

私立高校の授業料無償化の所得要件を約590万円未満から約700万円未満(多子世帯は条件付きで800万円未満)に緩和。県立高校の特別教室と特別支援学校の体育館へのエアコン整備も

看護・保育現場の 環境改善が急務

援にも道を開きました。

一方、高齢社会に役立つモノやサービスで福祉の向上と経済の活性化を図るといふ政策については、介護ロボットなどの

「がん医療」を受けられるよう保険適用の拡大などを進めるといふ公約については、国会議員との連携などにより、大きく前進しています。

社会実装を進めています。が、まだ道半ばです。今後高齢者向けのテクノ

正常な周辺組織への影響が少なく、体内深部のがんにも効果のある重粒子線治療。開始当初は先進医療でしたが、順次、保険適用範囲を拡大。現

後、高年齢者向けのテクノ

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。



公明党 神奈川県議会議員
おのでら 慎一郎
事務所/旭区二俣川2-58-12 Sビル2A
☎045-442-8100
ホームページ <http://www.onodera-s.com/>

ロジ(エイジテック)を注視していきます。
潜在看護師や潜在保育士の職場復帰支援も進めてはいますが、復職を促すためには、労働環境の改善を図ることが重要であり、引き続き力を入れていきます。

先進のがん医療をみんなのものに
また、公明党県議団の提案で、膀胱がん等の治療の影響で尿もれパッドを使用する方々のため、県施設の男性用トイレにサニタリーボックスを設置。県内市町村や民間団体等にも設置を呼びかけています。

患者のがん組織を用いた多数の遺伝子を同時に調べ、一人ひとりの体質や病状に合わせて治療を行う「がんゲノム医療」については、今年度、治療初期から受けられる体制を県立がんセンターに整備しました。

ターで行う重粒子線治療件数の約9割が保険適用になっています。

患者のがん組織を用いた多数の遺伝子を同時に調べ、一人ひとりの体質や病状に合わせて治療を行う「がんゲノム医療」については、今年度、治療初期から受けられる体制を県立がんセンターに整備しました。

また、公明党県議団の提案で、膀胱がん等の治療の影響で尿もれパッドを使用する方々のため、県施設の男性用トイレにサニタリーボックスを設置。県内市町村や民間団体等にも設置を呼びかけています。

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。

以上、公約通り一定の成果を見たものもありますが、未達成のものについては、今後も継続して取り組んでいく所存です。